

●快適ドライブのために	194
雨の日の快適ドライブ	194
夏の快適ドライブ	195
寒冷時の取り扱い	196
タイヤチェーンの装着	202
車内休憩時の注意	203
●お手入れのしかた	204
外装のお手入れ	204
内装のお手入れ	207
その他のお手入れ	208
●環境保護のために	211
●点検・整備、保証について	212
点検・整備について	212
保証について	212

快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

●窓ガラスがくもるとき

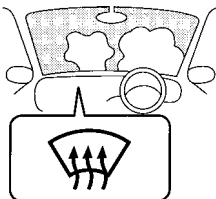
フロント、サイドウィンドーガラス

エアコンで除湿します。

エアコンの吹き出し口をにして、吸い込み口は外気導入にします。

冬でもエアコン（冷房・除湿機能）を活用してください。

☑窓ガラスのくもりを取るとき…
148ページをお読みください。



TCA0545Z

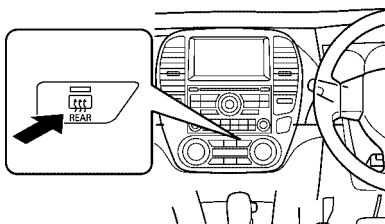
知識

- ・早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

リアウィンドーガラス

リアウィンドーデフォグガーを作動させ、くもりを取ってください。

☑リアウィンドーデフォグガースイッチ…113ページをお読みください。



ZIC0269

●ガラスが油膜でガラガラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。



TCA0131Z

アドバイス

- ・油膜があると、雨の夜などは対向車の光が乱反射して見えにくくなることがあります。

●ワイパーのふき残しがあるとき

- ・ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ・ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。
- ☑ワイパーブレードの交換は、メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。



TCA0132Z

夏の快適ドライブ

- **オーバーヒートを防ぐために**
日常点検で冷却水の量を点検してください。
高水温警告灯が点灯したら、安全な場所に停車して冷やしてください。
● **オーバーヒートしたときは…222**
ページをお読みください。



TCA0133Z

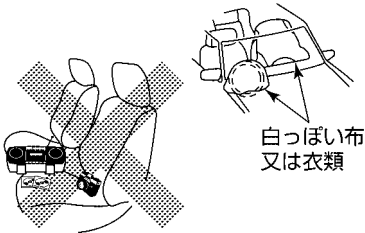


アドバイス

- ・地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

●炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。



ZSD0011



警告

- ・お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。



注意

- ・炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

●海に出かけたあとは

- ・車体に付着した塩分を早めに落としてください。
- ・洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

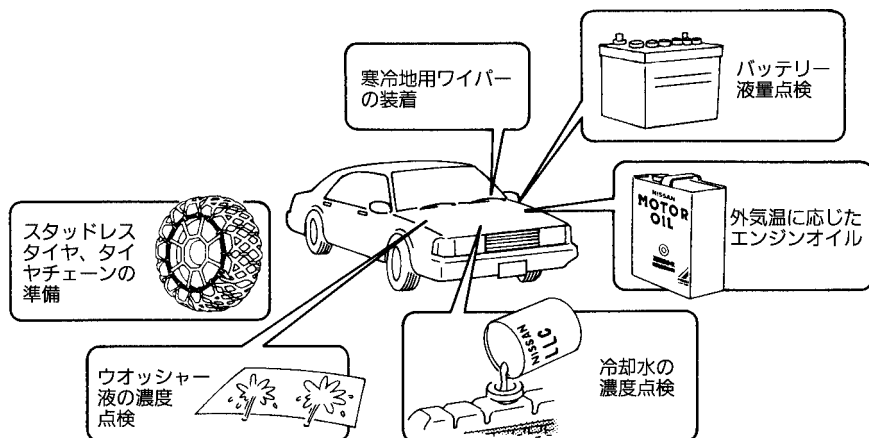


アドバイス

- ・塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく



TSB0400Z

●エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

- サービスデータのエンジンオイル
…238ページをお読みください。



アドバイス

- ・エンジンオイルの交換は日産販売会社にご相談ください。

●バッテリー液の点検、補給

バッテリー液の点検、補給のしかたは、メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

●冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

エンジンクーラントの濃度	凍結温度
30%	約-15℃
50%	約-35℃

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。



アドバイス

- ・寒冷地仕様車は工場出荷時に50%にしています。
- ・冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

●スタッドレスタイヤ、タイヤチェーンの準備

- ・スタッドレスタイヤに交換するときは、4輪とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。
- ・タイヤチェーンはお客様のタイヤサイズに合った日産純正品をおすすめします。

❶タイヤ・ロードホイールを交換するとき…210ページをお読みください。

❷タイヤチェーンの装着…202ページをお読みください。

●ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

❶ウオッシャー液の補給…208ページをお読みください。

⚠ 注意

- ・外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

●寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用ワイパーブレードは、ワイパーブレードの金属部分をゴムで包み、雪の付着を少なくするものです。装着するときは、車のサイズに合った日産純正品をおすすめします。

詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 注意

- ・高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。
- ・凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。

🔧 アドバイス

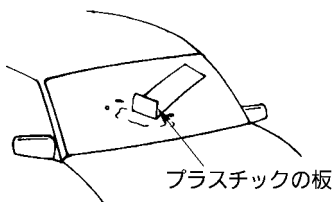
- ・降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

❶ワイパーブレードの交換…メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

出発前の準備

●窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。



TCA0135Z



警告

- ・ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

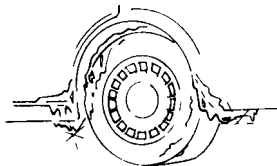


アドバイス

- ・ウィンドーガラスにワイパーブレードが凍結しているときは作動させないでください。ワイパーが破損したり、モーターが故障することがあります。

●足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を取り除いてください。



TSA2194Z

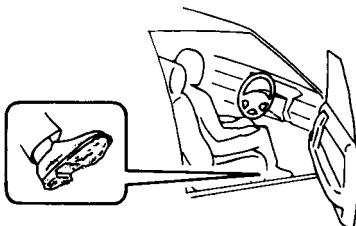


アドバイス

- ・氷塊などを取り除くときは、部品を破損しないように注意してください。

●靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。



TSA2195Z

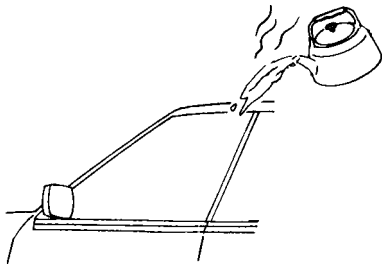


アドバイス

- ・雪が付いていると、ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因になります。

●車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。



TSA1222Z



アドバイス

- ・ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ・ワイパー、電動ミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ・ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

●滑りやすい路面の走りかた

- ・滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- ・雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

●タイヤチェーンの装着…202ページをお読みください。

- ・雪道を走行するときは、e・4WD車は2WD↔4WD切替えスイッチを4WD側に切り替えます。

●2WD↔4WD切替えスイッチ…134ページをお読みください。



TCA0138Z



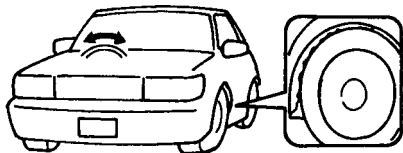
警告

- ・無理な運転をすると横滑りなどを起こし、方向性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ABS…137ページをお読みください。

●走行中の雪の付着に注意

- ・ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
効きが悪いときは、低速走行でブレーキを軽く踏み、ブレーキの湿り気を乾かしてください。
- ・フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。



TCA0139Z



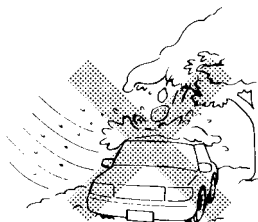
アドバイス

- ・ブレーキを踏んでブレーキの湿り気を乾かすときは、前後の車との距離を十分にとってください。

寒冷時の駐車

●長時間駐車するとき

- ・セレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。
- ・フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。
- ・軒下や樹木の下には駐車しないでください。
- ・ワイパーアームを起こしておくと、ブレードと窓ガラスの凍結を防止することができます。



TSB0242Z



アドバイス

- ・パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- ・風上に向けて駐車すると、エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- ・軒下や樹木の下に駐車すると、落雪で車が損傷するおそれがあります。
- ・雪が降りそうときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。

雪道を走行したあとは

- ・凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、早めに洗車してください。
- ・洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。



TCA0140Z



アドバイス

- ・寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。



知識

- ・放置しておくとサビの原因となります。

目次

安全・快適なドライブのために

走行する前に

走行するとき

室内装備の使いかた

車との上手なつきあい

万一のとき

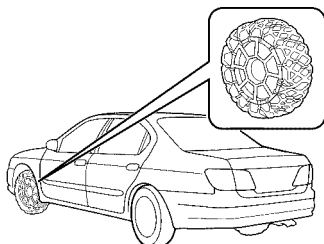
付録

さくいん

タイヤチェーンの装着

- ・タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。e・4WD車も前2輪に装着してください。
- ・お客様のタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。

タイヤチェーンはお客様の車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。



ESF0503Z

●タイヤチェーン装着の前に

- ・安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- ・パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板(又は停止表示灯)を置きます。

⚠ 注意

- ・タイヤチェーンは、タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。



アドバイス

- ・応急用タイヤにはタイヤチェーンを装着できません。前輪がパンクした場合は、応急用タイヤを後輪に取り付け、外した後輪を前輪に取り付けてから、チェーンを装着してください。
- ・タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバーやアルミホイールに傷をつけるおそれがあります。ホイールカバーは外してください。
- ・タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- ・雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、e・4WD車は機構に無理がかかり故障の原因となります。
- ・タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。



知識

- ・4輪に冬用タイヤ（スノータイヤ、スタッドレスタイヤ）を装着すると、雪道で発進、走行、停止がしやすくなります。
- ・停止表示板（停止表示灯）は車載されておりませんので、必要に応じて準備してください。

●タイヤチェーンの装着のしかた

- ・タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

車内休憩時の注意

●仮眠するとき

- ・次のような場所に駐・停車してください。
 - ＊駐車可能な安全な場所
 - ＊車の周囲に壁などが無い場所
 - ＊車の近くに燃えやすい物がない場所
 - ＊他車の排気口が近くにない場所
- ・エンジンは必ず止めてください。
- ・エアコンは外気導入にしてください。
- ・助手席又は後席に乗ってください。



警告

- ・壁などに囲まれた場所で長時間エンジンをかけたままにすると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になる危険があります。
- ・エンジンをかけたまま仮眠すると無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、車の発進やエンジン過熱による火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・エンジンをかけたままエアコンを内気循環にして長時間使用すると、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂があった場合、排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

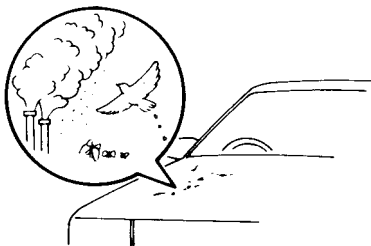
お手入れのしかた

外装のお手入れ

●塗装面を美しく保つために

駐車、保管場所に注意

- ・駐車、保管するときは、風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- ・樹木の下は、虫や鳥のふん、樹液などが付着しますので避けてください。



TSA2199Z

洗車・ワックスがけの実施

- ・塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。洗車やワックスがけはこまめに行ってください。

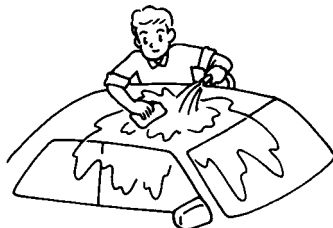
汚れに適した処理を

- ・ほこり、汚れなどが付着したときは、柔らかい布や毛ばたきなどで軽くふき取ってください。



TCA0141Z

- ・ばい煙、虫や鳥のふん、樹液、鉄粉、虫の死がいなどが付着したときは、セーム皮や柔らかいスポンジなどを使い、洗車してください。



TCA0142Z

- ・コールドタール、落ちにくい汚れ、水あかなどが付着したときは、日産純正ケミカル用品などで取り除いてください。
- ・海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したときは、早めに下回りを含め洗車してください。

アドバイス

- ・日産純正ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
- ・外装のお手入れをするときは、ガソリンなどは使わないでください。塗装面が変色するおそれがあります。

●洗車のしかた

水洗いするとき

- ①水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- ②水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。
- ・汚れがひどいときは、ボディシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- ③はん点が残らないように水をふき取ります。



TCA0142Z



アドバイス

- ・洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- ・硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- ・下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。
- ・寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- ・ボディシャンプーを使ったときは、塗装面にボディシャンプーが残らないように水で十分洗い流してください。

洗車機を使うとき

＜自動洗車機＞

- ・ドアミラーを格納してください。
- ドアミラー…61ページをお読みください。

＜高圧（コイン）洗車機＞

- ・洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。



アドバイス

- ・自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ・ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。

●カメラレンズのお手入れ★

- ・中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。



アドバイス

- ・カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

●ワックスのかけかた

ワックスがけは1か月に1回程度、又は水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

- ①塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ②塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。



アドバイス

- ・新車時にワックスがけを行っても問題ありません。
- ・塗装面が熱いときに行うとムラになることがあります。
- ・塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- ・コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。

ワックスの選びかた

- ・コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。
- 日産純正カーワックスをおすすめします。
- *詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

●アルミロードホイールのお手入れ★

中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを洗い落としてください。



アドバイス

- ・変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
- *強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わないでください。
- *洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用してください。（体温以下が目安）
- *洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流してください。
- *硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わないください。



知識

- ・お手入れには、日産純正クリーナーをおすすめします。
- *詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

●軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。



知識

- ・タッチアップペイントの色は、車の塗装色と少し異なる場合があります。

内装のお手入れ

カーペットの汚れ取り

電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

●フロアカーペット…192ページをお読みください。

掃除機でほこりを
取り除いてから！



TCA0145Z



注意

- ・ルームクリーナーを使うときは、ドアや窓を開け、換気してください。



アドバイス

- ・内装のお手入れをするときは、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

●布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。

汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

中性洗剤 水



TCA0146Z



注意

- ・ルームクリーナーを使うときは、ドアや窓を開け、換気してください。

●リヤウインドーの清掃

- ・ガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線にそって軽くふいてください。
- ・ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

その他のお手入れ

●ウオッシャー液の補給

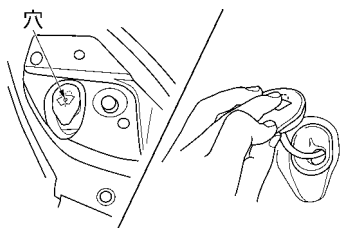
- ・ウオッシャー液が不足しているときは、ウオッシャータンクのキャップを外し、ウオッシャー液を補給してください。ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。

- ・ふたの穴を押さえ、引き抜くと、スポイト式にウオッシャー液の残量が点検できます。

引き抜いたときにウオッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウオッシャータンクはほぼ空の状態です。

日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

○ウオッシャータンク容量…239ページをお読みください。



ESF0504Z



注意

- ・ウオッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。



アドバイス

- ・ウオッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

●タイヤの交換



注意

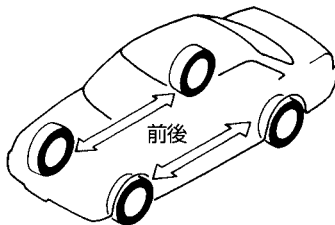
- ・タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

タイヤの位置交換(ローテーション)

左右それぞれで前後タイヤの交換を行ってください。

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために、約5,000km走行ごとに定期的な位置交換をおすすめします。

○タイヤ交換のしかた…231ページをお読みください。



TCA0147Z



注意

- ・タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性を損ねたり故障の原因になります。



アドバイス

- ・タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- ・タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

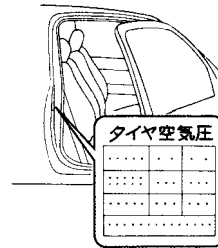


知識

- ・車載のジャッキを使って、タイヤの交換を行うときは、スペアタイヤを使って1輪ずつ交換してください。

タイヤ空気圧の点検

- ・タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。扁平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。
- ・タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- ・タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- ・タイヤの空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。



TCB0059Z

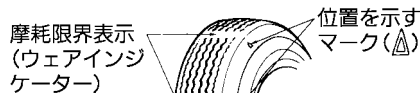


注意

- ・タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。



TCD0071Z

タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- ・タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- ・タイヤのサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。



注意

- ・指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けしないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・特にe・4WD車は径が異なるタイヤを装着すると、車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。
- 次のようなタイヤの装着はしないでください。
- ＊摩耗差の大きいタイヤの装着
 - ＊前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着
 - ＊サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- ・タイヤの交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

- ・ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは下表を参照してください。

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
185/65R15	15×5 1/2JJ	100mm (4穴)	40mm
195/65R15			42mm
195/60R16	16×6JJ		



アドバイス

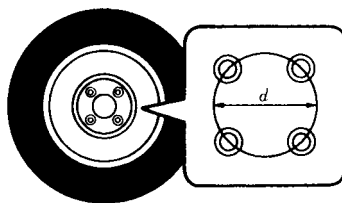
- ・ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- ・アルミロードホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- ・タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。



知識

P.C.D.とは

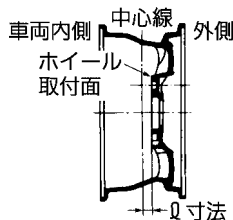
- ・ホイールナットを取り付けるボルト中心の円の直径（d）



TCA0279Z

インセットとは

- ・ロードホイールの中心線から取付面までの長さ（ℓ）



TCA0151Z

環境保護のために

車をお使いいただく過程では、窒素氧化物や二酸化炭素の排出をはじめ環境に様々な影響を与えます。次の点にご注意いただき環境保護にご協力ください。

●省エネ運転に心がける

- ・急発進・急加速は避けてください。また、経済速度を維持した走行を心がけてください。一般道路なら時速40km程度、高速道路なら時速80km程度が経済的な速度です。



TCE0082Z

- ・人待ちや荷降ろしなどで比較的長い時間停車するときは、エンジンを停止してください。また、暖機運転は低水温表示灯が消灯する程度で十分です。
- ・不必要な荷物を積んだままの走行はやめてください。ルーフラックなども使わないときは、車から取り外してください。



TCA0153Z

●点検・整備を必ず実施する

点検・整備を適切に実施することで、部品の劣化や摩耗などによる大気汚染や騒音の増加などを防ぐことができます。また、タイヤの空気圧が低いと燃料を余分に消費します。適正な空気圧に調整してください。



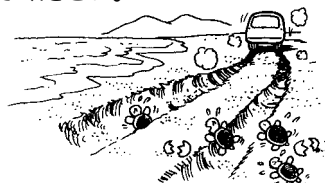
TCA0154Z

●使用済部品は適切に処理する

使用済みのバッテリーやタイヤなどの部品を廃棄するときは、新しい部品をお買い求めになった販売店に処分を依頼してください。エンジンオイルなどの廃液やエアコンの冷媒（フロンガス）も必ず適切な処理をしてください。

●周囲の環境を考えて走行する

砂浜や高原などでの走行は、動植物の生態環境を破壊するおそれがあります。道路以外の不整地などを走行するときは、大切な自然環境を壊さないように十分注意して走行してください。



TCA0155Z

目次

安全・快適力
ライフのため

走行する前に

走行するとき

室内装備
使用した車との上手な
付き合い

万のとき

付録

さくいん

点検・整備、保証について

メンテナンスノートに、点検・整備及び保証の内容について記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

点検・整備について

- ・車を最良の状態でお使いいただくため、点検・整備は必ず実施してください。
メンテナンスノートに点検・整備のしかたや時期などを記載しています。
- ・点検・整備は実施することが法律で義務づけられています。
- ・点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。
- ・点検・整備を実施したときは、必ずその結果をメンテナンスノートに記入してください。
- ・購入後 1 か月（又は 1,000km 走行時）、6 か月（又は 5,000km 走行時）は無料で点検が受けられます。

保証について

- ・保証書には、車が故障したときの無料修理の条件や範囲を記載しています。一度お読みになり確認しておいてください。



TCA0156Z